

2020年1月16日

「第15回 JTB交流創造賞」受賞作品決定

◆JTB 交流創造賞「組織・団体部門」

マリン・ツーリズム山田

『漁師が地元の海をまるごと魅せる！漁船クルーズで町を活性化』

◆JTB 交流創造賞「一般体験部門」

深瀬 惇

『カールの次はカール』

◆JTB 交流創造賞「ジュニア体験部門」

小学生の部：阿部 恵 『島バナナゆれて』

中学生の部：阿美 慈英 『自分ルーツの旅』

株式会社 JTB（本社：東京都品川区、代表取締役 社長執行役員：高橋 広行 / 以下、JTB）は、「地域に根ざした持続的な交流の創造と各地域の魅力の創出、地域の活性化に寄与することを目的とした表彰制度「JTB 交流創造賞」を設けています。2005年の創設以来、このたび15回目を迎えました。

「JTB 交流創造賞」は、地域（観光地）での組織・団体の取組みを対象とした「組織・団体部門」、一般の旅行者のエピソードを対象とした「一般体験部門」、小中学生の旅行体験を対象とした「ジュニア体験部門」の3部門から成ります。このたびも厳正な審査・選考を実施し、「第15回 JTB 交流創造賞」各部門の受賞作品を決定しました。「組織・団体部門」には84作品、「一般体験部門」95作品、「ジュニア体験部門」620作品のご応募をいただきました。選考の結果は、別紙の通りです。

受賞作品の全文は以下の URL からご覧ください。

⇒ <https://www.jtb.co.jp/chiikikoryu/koryusouzousho/jushou/index.asp>

JTB グループは、事業パートナーやお客様とともに、地域が本来持ち合わせている自然や文化、歴史などの価値を再発見し、眠っている宝に磨きをかけ、地域特性を存分に活かした持続的な「交流」の創造、活性化へ寄与していきたいと考えています。

長年の努力や斬新なアイデアに満ちた様々な交流の創造に関して「JTB 交流創造賞」の表彰を行い、全国へ情報発信することで、「持続可能な観光」と「双方向型の観光」の実現を目指してまいります。

<報道関係の皆様からのお問い合わせ先>
JTB 広報室 TEL：03-5796-5833

第15回 JTB 交流創造賞 受賞作品

◆受賞作品一覧

各部門	受賞内容	組織・団体名、氏名 : 作品名
組織・団体部門	最優秀賞	マリン・ツーリズム山田： 「漁師が地元の海をまるごと魅せる！漁船クルーズで町を活性化」
	優秀賞	NPO 法人「街なか映画館再生委員会」： 「映画×文化×まち 新しいことをカタチに！ 日本最古級の映画館『高田世界館』の挑戦。」
	優秀賞	旧服部医院を再活用する会： 「JR 三江線の廃止を乗り越え“天空の駅” 一帯を廃線の聖地に」
	選考委員 特別賞	株式会社 BrewGood（ビールの里まちづくり協議会 事務局）： 「世界一ビールが楽しいまち遠野・ビールの里実現に向けた取り組み」
一般体験部門	最優秀賞	深瀬 惇： 「カールの次はカール」
	優秀賞	熊倉 省三： 「団塊ジジイのひとり旅」
	優秀賞	山田 幸夫： 「白枇杷の木の下から」
ジュニア体験部門・ 小学生の部	最優秀賞	阿部 恵： 「島バナナゆれて」
	優秀賞	稲田 紬季： 「おさんぽカヤック」
	優秀賞	黒川 芯吏： 「民泊バンザイ」
ジュニア体験部門・ 中学生の部	最優秀賞	阿美 慈英： 「自分ルーツの旅」
	優秀賞	田中 茉莉： 「俳句と小諸とわたし」
	優秀賞	橋本 翔右： 「車イスを押して横浜」

◆選考委員

安島 博幸	跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授
松平 定知	京都造形芸術大学教授
森 まゆみ	作家、谷根千工房主宰
政所 利子	株式会社 玄 代表取締役
見城 美枝子	青森大学副学長、エッセイスト、ジャーナリスト
伊藤 嘉道	株式会社 JTB 常務執行役員